



大相撲第39代横綱。西宇和郡喜須来村(現八幡浜市保内町)出身。本名は萩森金松。高砂部屋入門後、途中再起不能といわれた骨髄炎にかかりながらも奇跡的に復帰し、大関を9年18場所務めた後、戦後初の横綱となる。闘志あふれる取り口と強烈な張り手は有名である。引退後は、第4代高砂浦五郎を襲名し、高砂一門を率いる。大相撲の海外巡業を実現し、外国人力士第1号の高見山を育てるなど、大相撲の国際化に貢献する。幕内成績は、206勝104敗39休、勝率6割6分5厘、優勝1回。

略歴

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 大正3(1914)年5月4日 | 西宇和郡喜須来村喜木(現八幡浜市)に生まれる。 |
| 昭和3(1928)年秋 | 高砂部屋に入門。 |
| 昭和4(1929)年春場所 | 初土俵を踏む。四股名「喜木山」。翌年、「佐田岬」に改名。 |
| 昭和8(1933)年冬 | 右腕に骨髄炎を病み、前田和二郎博士の1年にも及ぶ治療が開始。 |
| 昭和10(1935)年春場所 | 「前田山英五郎」を名乗り、再起。 |
| 昭和12(1937)年春場所 | 入幕。翌年の夏場所には、関脇を飛び越え大関に昇進。 |
| 昭和17(1942)年1月1日 | 第4代高砂浦五郎を襲名し、大関との二枚鑑札。 |
| 昭和19(1944)年秋場所 | 初優勝。 |
| 昭和22(1947)年6月 | 第39代横綱となる(戦後初の横綱)。 |
| 昭和24(1949)年10月23日 | シールズ事件がもとで引退。 |
| 昭和26(1951)年6月30日 | 相撲紹介のために渡米し、海外巡業を実施。 |
| ~12月7日 | |
| 昭和37(1962)年6月 | 1回目のハワイ巡業。 |
| 昭和39(1964)年2月 | ハワイ巡業で後の高見山をスカウト。 |
| 昭和46(1971)年8月17日 | 静岡県畑毛温泉で療養中、肝臓がんのため57歳で永眠。 |

<関連図書>

- 愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- 高永武敏・原田宏『激動の相撲昭和史』ベースボール・マガジン社 1990年

- 窪寺紘一『日本相撲大鑑』 新人物往来社 1992年
- 景山忠弘『昭和・平成 大相撲グラフィ』 カタログハウス 1993年
- 今田柔全『どかんかい ー張り手ー代前田山英五郎ー』 BABジャパン出版局 1995年
- 『県民メモリアルホール人物探訪 第2集』 愛媛県生涯学習センター 1998年

(写真提供:八幡浜市)

愛媛県生涯学習センター:TEL 089-963-2111(内線212)
掲載情報の無断転載を禁じます。